

年 組 名前：

問1

「①は、火星の②に搭載した装置で、火星の大気の大半を占める③から④を作り出す実験に成功しました」。

①～④に入る言葉は何ですか。

- ① 「」
- ② 「」
- ③ 「」
- ④ 「」

問2

今回の実験成功によって、「人類が火星に移住する目標に向けて期待が出てきた」という声もあります。移住はともかく、月や火星などへの旅行は不可能でない気がします。あなたは、だれでも気軽に宇宙旅行ができるようになるのは、何年後だと思うか、夢を膨らませながら○を付けてください。

- 「」 10年後 「」 30年後
- 「」 50年後 「」 100年後

問3

火星は太陽系の惑星のひとつですが、火星以外で知っている太陽系の惑星の名前を挙げてください。

.....

.....

NASA「人類移住へ期待」

火星で酸素人工生成

米航空宇宙局(NASA)は22日、火星の探査車パーシビアランスに搭載した装置で火星の大気の大半を占める二酸化炭素(CO₂)から酸素をつくり出す実験に成功したと発表した。地球以外の天体で酸素をつくったのは初めてという。「人類が火星に移住する目標に向けて期待できる成果だ。大量に貯蔵できれば地球に帰還するためのロケット打ち上げにも役立つ可能性がある」としている。NASAによると、実験は火星の表面で20日に行われた。二酸化炭素分子は炭素原子一つと酸素原子一つでできている。今回、装置の中で800度の高熱を加え、酸素と二酸化炭素に分解した。宇宙飛行士1人が10分間で呼吸する量に相当する約5・4夸の酸素が得られた。呼吸やロケットの打ち上げには大量の酸素が必要になる。地球から運ぶのは重くて困難なため、火星で酸素をつくる方が安価で実用的という。

(2021年4月23日付 山梨日日新聞 26面)